

フォレスト GX/DX 協創センターの発足

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林では、令和6年度概算要求（教育研究組織改革分（組織整備））により、フィールドデータ研究センターを発展的に改組し、2024年4月にフォレスト GX/DX 協創センターを発足させた。本センターは、国土の3分の2を占める森林資源にフォーカスし、大規模・高精度の森林データ整備などの部局間連携研究、産学協創や社会協創を通じて、森林へのグリーン投資を呼び込むプラットフォームを形成し、脱炭素社会の実現に向けた東大モデルを作ることミッションとしている。脱炭素社会の実現に必要な経済社会システムの転換のため、Nature-based solutions（自然を活用した解決策）を展開し、次の5つの課題への取り組みを進めている。①大規模・高精度の森林データ整備、②森林の炭素吸収量推定の精緻化・見える化、③土壌炭素蓄積も考慮した森林管理技術の開発、④森林 GX/DX の人材育成、⑤地域の脱炭素化の計画策定へ向けた企業・自治体・地域社会との協創。また、アジアの拠点大学と連携を進め、将来的にアジアの森林 GX/DX 研究拠点の形成を目指している。



フォレストGX/DX協創センターの機能

